

すべての取組(研修)は授業改善に通ず

1 ビジョンの共有

本校は、令和7年度に近畿小学校生活科・総合的な学習研究協議会での発表を予定している。そのため、令和4年度末に、今年度の重点研修として「探究学習」の研修を決定し、年間計画に組み込んだ。

4月の赴任以来、職員会議や終礼、研修報告など機会がある毎に、学校長のビジョン「授業で勝負する三宅小学校」の浸透を図ったところ、教職員は、追加の研修にも理解を示した。

2つの研修及びその結果の取組を2点紹介する。

2 Google Workspace 操作スキルアップ研修

三宅町と川西町の両教育委員会が連携して、12月19日・20日・25日の3日間、Google社より紹介いただいた講師による研修を企画した。教職員は、基礎編の内容でも知らない機能や活用方法があることを知り驚きを隠せず、「3学期には、〇〇に挑戦してみよう!」と決意を表していた。そのことが3学期の利用状況(B-2参照)に現れている。



3 「森本文庫」の設置

多忙を極める教職員の自己研鑽の一助となるよう、「最新の教育事情や本校が目指す教育の方向性を、もっと理解するのに役立つ本(27種類29冊)」を設置した。教職員が休憩に使う場所に設置し、貸出票に本の概要を載せ、おすすめの箇所に付箋をつけるなど、借りやすく・読みやすい工夫を施した。



4 授業研究の時間を生み出す「働き方改革」研修

1月31日に、働きやすさではなく、働きがいを目指して、時間の有効活用について話し合う研修を行った。時間を費やしている業務、負担を感じている業務を出し合い、改善したい・できそうな業務の洗い出しを行った。その後、学年部会→分掌部会→職員会議を経て、意見がまとまった。職員会議や終礼の時間短縮に向けた「教職員ポータルサイトを作ってほしい」という意見が出て、教務主任・事務職員が主となり、試作し、2月中旬より運用を開始している。職員は「見ました」マークを自分のお気に入りの画像に変えたりと、楽しみながら活用している。

運用間もないため、どれだけの時間短縮につながっているかは、現在、調査中である。

